



大学による地方創生人材
教育プログラム構築事業

人材育成から人材輩出へ

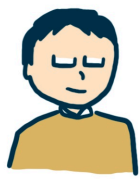


ローカルESG、その地域
らしい地域創生に向け
地域大学が果たす役割とは

Workshop 地域ゼロカーボン



向山 徹氏
岡山県立大学



茅野 恒秀氏
信州大学



中嶋 聞多氏
信州大学

1 向山先生

◇ 環境と建築



- 持続可能性の形成
- 日本は人工材40%
- 森林機能の衰え



「災害と
向き合
ない
いけない」

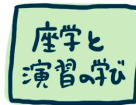
- 津田永忠氏の建築
↳ 学ぶものがある
↳ 今ものこってまちを守る

「ふだんから
「木」をつかう
ことを「まちづくり
」で行う!!



◇ 雨の器 閉谷学校

- 学びの聖地として守られてきた
- 水利技術を活かした建築



座学と
演習の学び



木の構造・強度・震災のときどう壊れた？
まちづくりに必要な森林量の計量

企業や地域と連携した学び、溶け込むものづくり



大学による地方創生人材
教育プログラム構築事業

人材育成から人材輩出へ

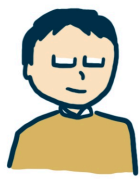


ローカルESG、その地域らしい地域創生に向け
地域大学が果たす役割とは

Workshop 地域ゼロカーボン



向山 徹氏
岡山県立大学



茅野 恒秀氏
信州大学



中山 間多氏
信州大学

2 茅野先生：地域として大学としてどう考える？

◇ 上田市事例

分散型で電気を作る

Q 相乗りくん

参加 敷居の低さ

◇ 安曇市

薪ストーブユーザー

利用世帯調査

◇ 地域との取り組み

持続可能な
脱炭素社会

大学ができること大きい

大学ができること

◇ 脱炭素

最小エネルギーの使用

自然由来のエネルギーへ

世界のスタンダード

2030：新築建築物ゼロカーボン水準へ

2035：先進国電力排出量ゼロへ

世界 - 国 - 地域
各レベルで何をすべきか？



EV

福祉と連携した政策

集落点検の使用

PPAモデル(無理ない導し)

中小企業の支援

リサイクル

民間

大学
行政

引っぱって行ける
内外で協働力する!!
プラットフォームになる



大学による地方創生人材
教育プログラム構築事業

人材育成から人材輩出へ

断熱材の活用

- ☑ 地域で共同で使える場が!!
- ☑ 学生にとっても重要な機会

環境との共生 | 大学の役割



日本から地域ゼロカーボン
発信できるのでは?



- ☑ コミュニケーション取りながら
- ☑ 地域と行政の窓口作りながら
- ☑ 個別で同じことをやることも

⚠ 教員個人の仕事になる...

Workshop 地域ゼロカーボン



プロジェクトマネージャー



- ☑ 必ずしも先生でなくOK
 - ☑ ステークホルダーを活かす
 - ☑ 入口 → 出口
- ごちゃごちゃしててもいい

フラットに
大学/企業 巻き込んで

伴走型の留意点

- ☑ 成果が出ないとやめる
- ↳ 地域を振り回すのでは

¥ 予算切れる 学生変わる



向山 裕久氏
岡山県立大学

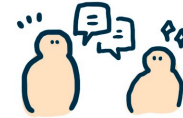


茅野 恒秀氏
信州大学



中嶋 開多氏
信州大学

専門を超えた イノベーションを生む



一緒にプロジェクト
やった人と繋がる

Q 利益 > 協働力 研究も

A ESGに取り組みながら
利益につながる

小さくやって
広げろ!!